

歳出

（町の支出）

質疑

農林水産業費

境界明確化の実績は

〔小形委員〕 森林境界明確化の実績と今後の予定は。森林環境譲与税の活用方針は。

〔当局〕 平成26年度から実施し、合計237ヘクタールの実績。令和元年度からは、中山地区で実施する。森林環境譲与税は、測量経費、地域林政アドバイザーの person 費等に活用する。

森林整備の内容は

〔渡部委員〕 荒廃森林緊急整備事業の内容は。

〔当局〕 ふるさと森林公園内の雑木化した森林の抜き取りなどを行い、景観を整備する。

〔佐々木委員〕 動物が隠れにくいように森林を整備し、人と動物を分けるという有害鳥獣対策の要素もあるようだが、今後の方向性は。

〔当局〕 事業の効果等を見ながら、全町に広げていければと考えている。今後、検討する。

どうするイノシシ被害

〔奥山委員〕 イノシシには、なかなか罾の効果が出ないようだが。

〔当局〕 イノシシは警戒心が強く、短期的な罾の設置では捕獲が難しい。電気柵は適切に設置することで効果が出るため、設置について、

詳しく丁寧に説明していく。

狩猟免許取得補助は

〔奥山委員〕 狩猟免許の新規取得や鉄砲所持許可の費用補助は、何人を見込んでいるか。若い人はいるのか。

〔当局〕 5人分を計上している。65歳未満を対象としているが、若い人に率先して取得してもらいたい。

中山間地域の対応は

〔小口委員〕 中山間地域等直接支払交付金事業の第4期の現状と、第5期に対する考えは。

〔当局〕 令和元年度が第4期の最終だが、高齢化により、2地区で取り組みが厳しい状況である。元年度には、新規拡充事業はないが、第5期も引き続き取り組んでいきたい。

経営状況の判断は

どうしても維持困難な場合は、本当に必要な所を地区で話し合い、選定してもらいたい。

〔奥山委員〕 農業次世代人材投資事業は、適切な農業経営を行っていない場合は資金停止となるが、その判断は誰がするのか。

〔当局〕 町、JA、県、共済組合等でチームを作り、就農者が定着できるように支援していく。経営についても、この組織が中心となり判断していく。

商工費

御用聞き事業廃止で困る人もいるのでは

〔佐々木委員〕 買い物困難者対策として実施した御用聞き事業が廃止となるが、困る人も



在りし日の釜の越ザクラ

るのではないか。

〔当局〕 実証実験から利用者も多くが、家族の手助け、介護保険サービス、デマンドタクシー等の併用により買物ができるため、現段階では、御用聞きニーズは低いと判断した。今後は、移動販売に集約していく。

〔佐々木委員〕 釜の越ザクラの移植について説明を。また、今後の支援はどうしていくのか。

〔当局〕 釜の越ザクラは枯れてしまったが、枝



優美な姿を再び(分身桜)

折れを挿し木したものの（分身桜）が順調に育つため、公園内に移植する。今後は、木の状況を見ながら、保存会とも相談しながら対応していく。

空き家バンクの状況は

〔笹原委員〕 空き家バンクの登録状況は。町外、県外からの問い合わせもあるのか。

〔当局〕 登録数は、平成29年度15件、30年度18件であり、若干増加している。空き家バンクを利用し、移住につながった事例は何件もある。